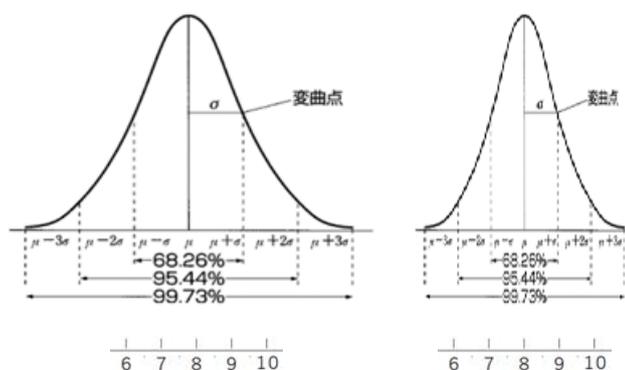


技術士一次試験は多くの受験者が当落線上に集中？ 8点±1点をめぐる攻防

技術士一次試験は基礎科目、適正科目、専門科目の3つよりなる。すべての科目に合格点を取ってこの試験は合格となる。この3科目の中で一番の難関は基礎科目と言われている。その理由はあまりにも出題範囲が広いからである。

基礎科目は30問出題されその中より15問を選択。内、8問正解すればこの科目は合格となる。

$8/30=27\%$ であるので考えようによっては楽な試験である。だが、現実にはそうはなっていない。



平成25年からの合格率を下表に示したが、合格率は50%あたりである。大学入学試験でもそうだが、1点差で明暗が分かれる。合格不合格ラインに多くの受験生が集まっている。この基礎科目でもおそらくそうなっている。あと1問正解していれば合格という人が結構多いに違いない。この1問の正解を稼ぎ出すために、多くの努力が傾けられる。

一次試験の受験者数と合格率

試験年度	申込者数	受験者数	受験率 A	合格者数	合格率 B
平成25年	19317	14952	77.4	5547	37.1
平成26年	21514	16091	74.8	9851	61.2
平成27年	21780	17170	78.8	8693	50.6
平成28年	22371	17561	78.5	8600	50.5
平成29年	22425	17739	79.1	8658	48.1
平成30年	21228	16676	78.6	6302	39.6
令和1年	22073	9337	42.3	4537	49.5
令和一年再	8096	3929	48.5	2287	58.1

A: 受験率 = 受験者数 / 申込者数 × 100%

B: 合格率 = 合格者数 / 受験者数 × 100%

←

日本技術士会のホームページデータより作成